

マダニによる感染症にご注意！

マダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。

マダニとは？

- ✓ 森林や草地などの屋外に生息する比較的大型のダニです。
(吸血前3～8mm、吸血後10～20mm)
- ✓ **野生動物が出没する場所に多く生息**しています。
- ✓ 春から秋にかけて活動が活発になります。
- ✓ **飼い犬等がマダニを付けて持ち帰る**こともあります。
※犬や猫からマダニを介さずに直接SFTSウイルスに感染した事例も報告されています。
- ✓ 皮膚の柔らかいところ(わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭など)を探して咬みつきます。
- ✓ 咬まれると、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**や**日本紅斑熱**などの感染症になることがあります。
- ✓ マダニの刺し口が見つからない場合もあります。



キチマダニ(吸血前)
愛媛県立衛生環境研究所



キチマダニ(吸血中)
国立感染症研究所



刺し口



重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは？

【潜伏期間】

- マダニに咬まれてから6日～2週間後に発症します。

【症状】

- 発熱、嘔吐、下痢、腹痛など
- 重症化し、死亡することもあります。

日本紅斑熱とは？

【潜伏期間】

- マダニに咬まれてから、2～8日後に発症します。

【症状】

- 高熱(38～40℃)や倦怠感、頭痛、悪寒を伴い、米粒大から小豆大の赤い発しんが現れますが、かゆみや痛みを感じないのが特徴です。

マダニに咬まれないために



- ✓ 防虫スプレー(ディートまたはイカリジン含有)を、肌の出る部分や襟、袖、裾などに噴霧する。
- ✓ 帰宅後は上着類を家の外で脱ぎ、マダニに咬まれていないか確認！

もし、マダニに咬まれた時は…

- ✓ マダニに咬まれても、痛みや痒みは少なく、気付かないこともあります。
- ✓ 吸血中のマダニに気づいたら、**手でつぶしたり、無理に引き抜いたりせず、医療機関で処置**しましょう。(ペットの犬などについてマダニも手でとらないで！)
- ✓ 野山に出かけた後に熱などの**症状が出たら、速やかに医療機関を受診**してください。

マダニによる感染症の相談窓口

月～金(祝日を除く) 8時半～17時

松山市保健所 保健予防課

松山市萱町六丁目30-5(Tel 089-911-1815)